

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成30年6月14日(2018.6.14)

【公開番号】特開2013-205845(P2013-205845A)

【公開日】平成25年10月7日(2013.10.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-055

【出願番号】特願2013-63754(P2013-63754)

【国際特許分類】

G 0 2 C 7/04 (2006.01)

【F I】

G 0 2 C 7/04

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年4月24日(2018.4.24)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 8】

より堅いかまたはより剛性である光学ゾーン102の材料と、剛性がより低い周縁104のレンズ材料とは、組立て中に2つの材料のわずかな混合が生じ得るため、必ずしも明確な変わり目(distinct transition)を有さない。これは、レンズ100の剛性が、コンタクトレンズの中央からの位置の相関として、光学ゾーンの外側に徐々に変化し得ることを意味する。更に、剛性な光学ゾーン102の材料は、コンタクトレンズの中央光学部の前面から中央光学部の裏面まで連続的であろう。これは、ソフトレンズ材料シェルの内側に、硬質レンズインサートを封入し、剛性な光学ゾーンから軟性な周縁への明確な変わり目を有するハイブリッドコンタクトレンズとは異なる。これはまた、縁どられたガス透過性ハードコンタクトレンズ(RGP)とも異なる。というのも、このコンタクトレンズの周縁は硬質中央光学部の上にモールド成形されるのではなく、むしろ、2つの材料が一緒にモールド成形され、1つの不均質のソフトコンタクトレンズを創造するためである。